

# 介護職員初任者研修 講座開講

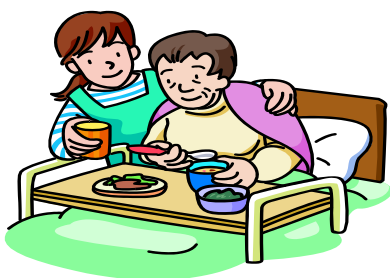


人のために、家族のために役立ちたい・・・

今の仕事を続けながら資格をとりたい・・・と思っている方  
本養成講座はいかがでしょうか！?

本講座は、以前の「ホームヘルパー2級養成講座」が新たに  
制度変更されたものです。

- [ 期 間 ] 平成28年9月～平成29年3月（実技・実習含め全130時間） 7ヶ月間
- [ 日 程 ] 平成28年9月13日 ～ 平成29年3月10日  
平日（主に）火・金 午後6時～8時または9時（カリキュラムにより異なる）
- [ 場 所 ] 名張育成会 （一部実習（現場実習）は場所が異なります）  
所在地：名張市美旗中村2326番地
- [ 募集定員 ] 30名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- [ 費 用 ] 65,000円（テキスト代・消費税を含む）  
交通費は自己負担となります。
- [ 申込資格 ] 資格取得に熱意のある方で18歳以上65歳くらいまでの人（ご相談下さい）
- [ 申込方法 ] **受講申込書を、このファイルの最後に添付しています。**  
必要事項ご記入の上で下記宛てにご提出ください（持参・郵送・FAX可）。



《 お問合わせ・お申込み先 》

社会福祉法人 名張育成会

サポートセンター 経営企画室 貞安

TEL : 0595-65-0271

FAX : 0595-65-2936

- ・ 法人格・法人名称・住所等 ————— 社会福祉法人 名張育成会  
三重県名張市美旗中村2326番地
- ・ 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 ————— 理事長 上村友則
- ・ 介護保険事業を実施している場合・事業概要 ——— 訪問介護・介護予防訪問介護
- ・ 事業所名称・住所等 ————— 事務局：経営企画室（名張市美旗中村2326番地）
- ・ 理念(学則に定める開講の目的) ————— 事業目的：在宅サービスの中核となるホームヘルパーを養成し、地域（在宅）生活における多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。
- ・ 学則 ————— 資料①
- ・ 研修施設、設備 ————— 社会福祉法人 名張育成会  
成峯 地域交流スペース（105㎡冷暖房完備）
- ・ 対象 ————— ホームヘルパーの仕事に熱意のある方で18歳から65歳くらいまでの人
- ・ 研修のスケジュール(期間、日程、時間数) ——— 平成28年9月～平成28年3月、概ね週2回のペースで講義を実施、合計130時間
- ・ 定員(集合研修、実習)と指導者数 ————— 定員30名、指導者数21名
- ・ 研修受講までの流れ(募集、申し込み) ————— 平成28年8月1日より募集、併せて申し込み受付開始(申し込み期限は8月31日)。
- ・ 費用 ————— 受講料65,000円  
(消費税およびテキスト代6,800円を含む)
- ・ 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 ——— 平日の夕方からの時間帯で講義時間を設定しております。お仕事を続けて頂きながら通って頂けます。
- ・ 課程編成責任者名 ————— 経営企画室長 市川知恵子
- ・ 科目別シラバス ————— 資料②
- ・ 科目別担当教官名 ————— 資料①に掲載
- ・ 科目別特徴 ————— 「1. 職務の理解」、「2. 介護における尊厳の保持・自立支援」、「3. 介護の基本」、「4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携」、「5. 介護におけるコミュニケーション技術」、「6. 老化の理解」、「7. 認知症の理解」、「8. 障がいの理解」以上8科目は講義形式。  
「9. こころとからだのしくみと生活支援技術」は実技演習を行いここで4日間の現場実習を行う。「10. 振り返り」で研修の総括を行う。
- ・ 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 — 実施なし
- ・ 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 ——— 所定の修了試験を実施(全41問(選択問題))。70点以上



1. 事業者名称及び所在地  
「社会福祉法人名張育成会」「三重県名張市美旗中村2326番地」
2. 事業の目的  
在宅サービスの中核となるホームヘルパーを養成し、地域（在宅）生活における多様なニーズへの対応を図る。
3. 研修事業の名称及び実施課程及び形式  
「社会福祉法人名張育成会 介護員初任者研修」「通学」
4. 年度事業計画（研修日程及び募集定員）  
「平成28年9月～平成29年3月」「30名」
5. 受講対象者  
ホームヘルパーの仕事に熱意のある方で18歳から65歳くらいまでの人
6. 研修参加費用（内訳、受講料・テキスト代）  
「受講料65,000円」（消費税およびテキスト代6,800円を含む）
7. 使用教材  
「介護職員初任者研修テキスト」（一般財団法人長寿社会開発センター発行）
8. 研修カリキュラム

カリキュラム内容	時間数
職務の理解 (1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	6 H
介護における尊厳の保持・自立支援 (1)人権と尊厳を支える介護 (2)自立に向けた介護	9 H
介護の基本 (1)介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2)介護職の職業倫理 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント (4)介護職の安全	6 H
介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1)介護保険制度 (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 (3)医療との連携とリハビリテーション	9 H

介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション (2)介護におけるチームのコミュニケーション	6 H
老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常 (2)高齢者と健康	6 H
認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況 (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (4)家族への支援	6 H
障がいの理解	(1)障害の基礎的理解 (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (3)家族の心理、かかわり支援の理解	3 H
こころとからだのしくみと生活支援技術	1. 基本知識の学習 (1)介護の基本的な考え方 (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 2. 生活支援技術の講義・演習 (4)生活と家事 (5)快適な居住環境整備と介護 (6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (9)入浴、生活保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (11)睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (12)死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 3. 生活支援技術演習 (13)介護過程の基礎的理解 (14)総合生活支援技術演習	7 5 H
振り返り	(1)振り返り (2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4 H
合 計		1 3 0 時間

9. 講義・演習室として使用する会場の名称、所在地

「成峯 地域交流スペース」「名張市美旗中村 2 3 2 6 番地」

10. 科目ごとの担当講師名一覧

科 目	講師名	所 属	資 格
職務の理解	松本 和憲	名張育成園 成美	介護福祉士
介護における尊厳の	阿部 晋一	名張育成園 は一と	介護福祉士

保持・自立支援	中井 治由	名張育成園 はーと	介護福祉士
介護の基本	位田 康代	名張育成園 レインボークラブ	介護福祉士
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	中川 敬三	名張育成園 のーまらいふ暖	社会福祉士
	和田 瑞恵	名張育成園 のーまらいふ暖	社会福祉士
	北森 祥子	名張市在宅医療支援センター	看護師
介護におけるコミュニケーション技術	鳥居 智子	名張育成園 成峯	社会福祉士
	岡 小紀子	名張育成園 成峯	社会福祉士
老化の理解	高成 秀樹	寺田病院	医師
認知症の理解	北森 祥子	名張市在宅医療支援センター	看護師
障がいの理解	高成 秀樹	寺田病院	医師
	谷本 渚	名張育成園 れいあろは	社会福祉士
こころとからだのしくみと生活支援技術	森脇 桂子	名張育成園 成峯	介護福祉士
	山森 靖子	名張育成園 成峯	介護福祉士
	黒川 麻衣	名張育成園 ゆーゆ	介護福祉士
	上杉 静香	名張育成園 ゆーゆ	介護福祉士
	藤村 加恵	名張育成園 成峯	介護福祉士
	勝田 千鳥	名張育成園 とも	介護福祉士
	岩田 美香	名張育成園 成峯	介護福祉士
	男武 正基	名張育成園 ワークプレイス栗	介護福祉士
	中島由香里	名張育成園 ワークプレイス栗	介護福祉士
	風早 洋子	名張育成園 ゆーゆ	介護福祉士
振り返り	阿部 晋一	名張育成園 はーと	介護福祉士
	中井 治由	名張育成園 はーと	介護福祉士

## 1.1. 募集手続き及び本人確認の方法

### (1) 受講申し込み

申込書に必要事項を記入し、当法人事務局に申し込む。

### (2) 受講料の納入

社会福祉法人名張育成会の事務局に受講開始日までに現金支払いまたは銀行振り込みにより納入しなければならない（納入がなされていない場合、講座の受講は認められない）。

納入必要内容：受講料およびテキスト代

振込先 [ 株式会社百五銀行 桔梗が丘支店 普通預金

口座番号：596973 名義：名張育成会 上村友則 ]

尚、振り込みによる支払いの場合、必要となる振り込み手数料は受講者側の負担となる。

### (3) 受講料の返還方法

当法人の都合により研修を中止した場合に限り受講料を全額返還する。

受講者の都合による受講中止の場合には受講料の返還はしない。

### (4) 本人確認

公的証明書により本人確認を行う（運転免許証や健康保険証など）

## 1 2. 科目の免除

特別養護老人ホーム等の介護職員等として、1年以上の介護等の実務経験を有する者が研修を受講する場合は、「職務の理解」の科目を免除する（但し、受講者から「実務経験証明書」の提出を求める）。

## 1 3. 研修修了の認定方法

### (1) 修了の認定方法

受講生は、定められた全科目（補講を含む）を履修しなければならず、修了の確認として『筆記試験（1時間程度（カリキュラム時間に含まない））』を実施する。所定の筆記試験において修了認定となるラインは80点以上とし、同試験の実施は2回までを限度とする。

### (2) 修了証書

修了が認定された者には、所定の修了証明書を交付する。

## 1 4. 研修出席者の取扱い

出席の確認方法として、受講生は講義開始前に所定の出席簿を提出し押印を受けるものとする。

## 1 5. 補講の取扱い

下記表に定められた科目別上限時間までは課題（レポート）を提出することをもって出席とみなす。但し、「こころとからだのしくみと生活支援技術」においては、実技演習の課題提出による補講は認められない。

それ以外においては補講を行うものとする（1時間につき2,000円）。

科目名	上限時間	設定時間
職務の理解	0時間	6時間
介護における尊厳の保持・自立支援	7.5時間	9時間
介護の基本	3時間	6時間
介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	9時間
介護におけるコミュニケーション技術	3時間	6時間
老化の理解	3時間	6時間
認知症の理解	3時間	6時間
障がいの理解	1.5時間	3時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間 (実技演習以外)	75時間
振り返り	0時間	4時間
合計	40.5時間	130時間

#### 16. 受講の取消

研修の秩序を乱す等の行為があったときには、事業者の判断により当該受講者に対して退学を命じ受講の取り消しを行うことができるものとする。

#### 17. 修了証明書の交付

介護技術の習得が認定され、かつ全科目を履修した者に対して1時間程度の筆記試験を行い、修了の認定がされた受講者に対して、事業者から所定の修了証明書を交付する。

#### 18. 修了者の管理

事業者は、修了証明書を交付する者の修了証明書番号・修了年月日・氏名・生年月日等を記載した交付名簿、その他必要書類を適正に管理するとともに三重県知事に提出する。

#### 19. 情報開示するホームページアドレス

<http://www.n-ikuseien.jp/>

#### 20. 研修事業執行担当部署名

社会福祉法人名張育成会 経営企画室

#### 21. その他研修実施に係る留意事項

本介護職員初任者研修の日程は予め定めた日程表に基づき実施するが、感染症の蔓延などやむを得ない事情により日時の変更を行う場合がある。受講者には事前に伝えることにより対応頂きたい。



## 資料 ②

科目番号・科目名・項目名		時間	
—	開講式・オリエンテーション	17:30～18:00	0.5H
1(1)	多様なサービスの理解	18:00～21:00	3H
1(2)	介護職の仕事内容や働く現場の理解	18:00～21:00	3H
2(1)	人権と尊厳を支える介護 ①	18:00～21:00	3H
2(1)	人権と尊厳を支える介護 ②	18:00～21:00	3H
2(2)	自立に向けた介護	18:00～21:00	3H
3(1)	介護職の役割、専門性と多職種との連携	18:00～20:00	2H
3(2)	介護職の職業倫理	18:00～20:00	2H
3(3)	介護における安全の確保とリスクマネジメント	18:00～20:00	2H
3(4)	介護職の安全		
4(1)	介護保険制度	18:00～21:00	3H
4(2)	障害者総合支援制度及びその他の制度	18:00～21:00	3H
4(3)	医療との連携とリハビリテーション	18:00～21:00	3H
5(1)	介護におけるコミュニケーション	18:00～21:00	3H
5(2)	介護におけるチームのコミュニケーション	18:00～21:00	3H
6(1)	老化に伴うこころとからだの変化と日常	18:00～21:00	3H
6(2)	高齢者と健康	18:00～21:00	3H
7(1)	認知症を取り巻く状況	18:00～20:00	2H
7(2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	18:00～20:00	2H
7(3)	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	18:00～20:00	2H
7(4)	家族への支援		
8(1)	障害の基礎的理解	18:00～20:00	2H
8(2)	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
8(3)	家族の心理、かかわり支援の理解	20:00～21:00	1H
9(1)	介護の基本的な考え方	18:00～20:00	2H
9(2)	介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ①	18:00～20:00	2H
9(2)	介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ②	18:00～20:00	2H
9(3)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ①	18:00～20:00	2H
9(3)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ②	18:00～20:00	2H
9(4)	生活と家事	18:00～20:00	2H
9(5)	快適な居住環境整備と介護	18:00～20:00	2H
9(6)	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	18:00～21:00	3H
9(7)	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	18:00～21:00	3H
9(8)	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	18:00～21:00	3H

9 (9)	入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	18 :00 ~ 21:00	3 H
9 (10)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	18 :00 ~ 21:00	3 H
9 (11)	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	18 :00 ~ 20:00	2 H
9 (12)	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	18 :00 ~ 20:00	2 H
9	実習 ①	8 :30 ~ 17:30	8 H
	実習 ②		8 H
	実習 ③		8 H
	実習 ④		8 H
9 (13)	介護過程の基礎的理解 ①	18 :00 ~ 20:00	2 H
9 (13)	介護過程の基礎的理解 ②	18 :00 ~ 20:00	2 H
9 (13)	介護過程の基礎的理解 ③	18 :00 ~ 20:00	2 H
9 (14)	総合生活支援技術演習 ①	18 :00 ~ 20:00	2 H
9 (14)	総合生活支援技術演習 ②	18 :00 ~ 20:00	2 H
10 (1)	振り返り	18 :00 ~ 21:00	3 H
10 (2)	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	18 :00 ~ 19:00	1 H
—	修了評価	19 :00 ~ 20:00	1 H
—	閉講式	18 :00 ~ 18:30	0.5 H

## 『介護職員初任者研修』受講申込書

社会福祉法人名張育成会 講座事務局 宛て [FAX: 0595-65-2936]

ふりがな 氏 名	
性 別	男性 ・ 女性                      どちらかに○をお付けください
生年月日	S/H      年      月      日      生      (      歳)
住 所	(〒      -      ) _____
連 絡 先	固定電話番号：      -      -      _____ 携帯電話番号：      -      -      _____ ファックス番号：      -      -      _____
お勤め先等	会社名（所属） → _____ 学校名等            → _____ ※ 勤め先電話番号（支障なければ）： _____
有資格名称	資格がありましたらご記載ください。
受講の動機	受講をご希望頂いた動機をお聞かせください（自由記載）。 例：学んだ知識などが今の仕事に活かせると思ったから など →